



声援に応える、はたやま氏(中)ら23日、北海道美唄市

## 市議選・参院選躍進へ

北海道美唄・深川で新春の集い

6月に市議選がたたかわれる北海道美唄市で、日本共産党新春のつどいが23日、開かれ、はたやま和也前衆院議員(参院道選挙区候補)が駆け付け、あいさつしました。

大雪について、参加した後援会員らに謝意を表した、はたやま氏。昨年たたかわれた洞爺湖町議選で断トツの1位、定数2の苫小牧市議補選と党候補が勝利するとともに、旭川市長選では市民と野党の共闘で西川将人市

長が自民候補を破り、4選を果たしたと報告。「日本共産党への関心と期待が広がっています。このチャンス

を市議選と参院選での党の躍進、市民と野党の共闘勝利に結実させましょう」と訴え、吉岡文子、吉岡建二郎両市議と壇上で声援にこたえました。

「年金は60万円ほど

なのに、国保と介護保険料が毎年上がって暮らしていけない。消費税増税なんて絶対ダメ」かつての「炭鉱のまち」美唄でも朝鮮や中国からの微用工が働いていました。歴史を正しく認識し、9条改憲を許さないたたかいで頑張らないと」と話し合いました。

同じ6月に市議選が行われる深川市。はたやま氏が参加した16日に開催の新春のつどいで、北名照美市党委員長は「1議席から2議席獲得に挑戦します」と表明しました。